取扱説明書

Takada Bed

耳鼻科チェアー（アジャスター付き） TB-1028

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
ここに示した事項は安全にお使いいただくことにより、事故を未然に防止するためのものです。

区　分	危険や損害の大きさと切迫の度合い
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定されます。

⚠ 警告	
	電源プラグは確実に根元まで差し込んでください。差し込みが不完全だとショートや発熱により発火の原因となります。
	使用しないときは電源プラグを抜いてください。不用意な操作で思わぬ事故が起きたり、絶縁劣化による漏電火災の原因となります。
	電源コードやプラグは傷んだ状態で使用しないでください。感電や発火の原因となります。
	電源プラグを抜くときはコードを持たずに、電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードが破損し感電や発火の原因となります。
	ベッドを設置する際には、必ず平らでしっかりした床の上に設置してください。傾いた場所に設置しますとベッドが転倒する恐れがあります。
	ベッドの作動前、及び作動中は、まわりの人の身体や手足、障害物が無いか十分注意してください。ベッドに挟まれ、人身事故や物損事故の原因になります。
	本製品は電気機器を使用していますので、水をかけたりしないでください。故障や感電の恐れがあります。
	ベッドを移動させるときは、高さを最下限まで下げてから移動させてください。転倒して人身事故や物損事故等の原因になります。

注意	
	150kg 以上の荷重をかけないでください。転倒事故や作動不良となります。
	電源コードやフットスイッチのコードの上に物を置かないでください。コードがきずついて、断線、ショートによる感電や発火の原因になります。
	使用前に各部が正常かつ安全に作動することをご確認ください。
	ゆるみ、がたつき、傾き、音等に常に注意して、点検を行ってください。また少しでも違和感を感じたときはご使用を中止してください。
	コードで脚を引っかけないようにご注意ください。
	昇降を連続して使用するとモーターが加熱してきます。2 分以上連続で作動させないでください。
	フットスイッチは踏み間違いの無いように、十分注意して操作を行ってください。操作を行う人は回りに十分注意を払い、言葉を掛けてからベッドの動作を行ってください。
	ぐらつきが発生する場合は、アジャスターで微調整をしてからご使用ください。故障や破損の恐れがあります。
	ご使用中に異常な揺れが発生したら、使用を中止し、各部の締め付けボルトの再点検を行ってください。又、改善されない場合は、ご購入代理店にご相談ください。

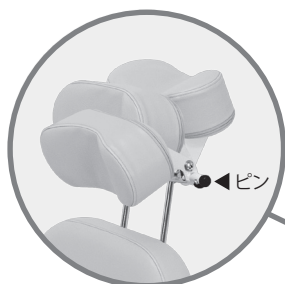
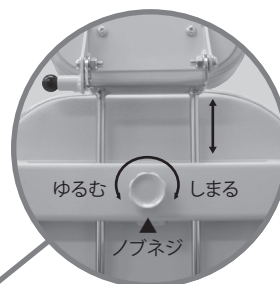
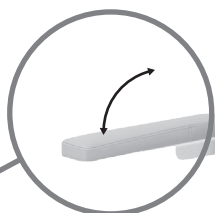
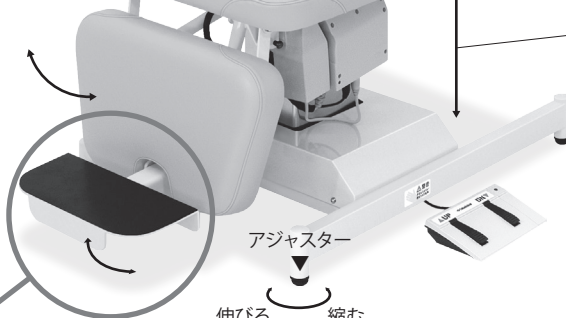
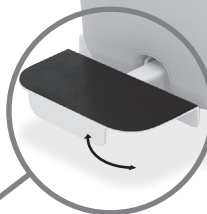
基本仕様

● 外形仕様：幅 50cm (アームレストを含む幅 70cm) × 長さ 160cm× 座高 50 〜 90cm　● 重量：約 50kg
● 最大搭載重量：300kg　● クッション厚：5.5cm (背部・座面)

■ 可動角度　● 背部／ 0 〜 80°　※ 電動式　● フットレスト／ 0 〜 90°　※ 背部・脚部連動式
　　　　　　● 脚部／ 0 〜 -90°　※ 電動式　● アームレスト／ 0・110°

■ モーターの仕様内容

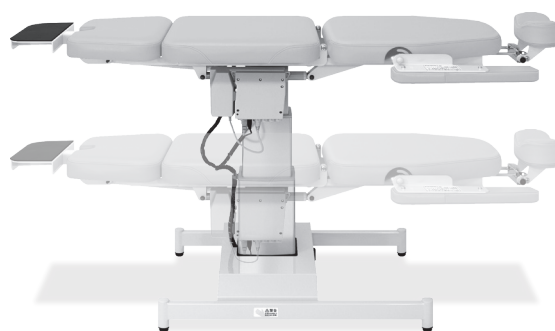
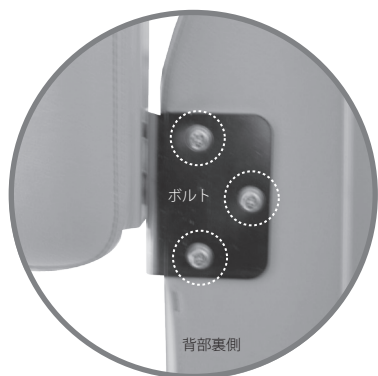
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力 [6000N 負荷時]	MAX300W　3A
昇降速度	上昇：約 25 秒／下降：約 25 秒　上昇：約 32 秒／下降：約 22 秒 [70kg 負荷時] リクライニング：約 18 秒
最大耐荷重	150Kg
コード	手元スイッチ：2.3m (カール式)　　フットスイッチ：1.9m
電源コード	2.4m

各部の名称および使用方法　● ご使用の前に必ずお読みください。

手元スイッチの使用方法　●ベッドの連動リクライニング (背・脚あげ) 用

UP を押している間、背部シートが上昇 (脚部シートは下降) します。離すと停止します。
DN を押している間、背部シートが下降 (脚部シートは上昇) します。離すと停止します。

フットスイッチの使用方法　●ベッドの昇降用

フットスイッチ

⇧を踏んでいる間、シート全体が上昇します。離すと停止します。
⇩を踏んでいる間、シート全体が下降します。離すと停止します。

アームレストの取付方法　※ プラスドライバーが必要になります。

背部裏側

付属のボルトで、背部裏側にアームレストをしっかりと取り付けてください。
(各 3 カ所・合計 6 カ所)

※ボルトはしっかり締め込んでください。アームレストがはずれて事故の原因となります。

保守点検の手引き　● 使用者による保守点検

本製品を末永く、安全にご使用いただくためには、下記の項目について定めた頻度で点検を実施していただく必要があります。

⚠ 警告　保守点検は必ず実施してください。保守点検を実施しないで本製品を使用すると、人身事故や物損事故の原因となります。

No	点検内容	点検頻度	点検方法・診断
1	設置状態の確認	毎回 (使用前)	目視または本体をゆすってみて、本体のガタつき、傾きがないこと。
			シートが壁から離れていること。
2	フットスイッチ操作での作動確認	毎回 (使用前)	フットスイッチでシートが上限位置、および下限位置まで正常に作動すること。
			シートの上昇、および下降スピードが納品時、または日常使用のスピードと変わらないこと。
			シートの上昇、および下降時に本体のグラつき、および異常音がないこと。
3	シート昇降機構部からの異臭の確認	毎回 (使用前・使用後)	シート昇降機構部から異臭、および煙がでていないこと。
4	上昇したシートの高さが一定位置で停止しているかの確認	毎回 (使用前)	シートの高さが一定位置で停止し、沈下しないこと。
5	外観部品の状態確認	毎回 (使用前・使用後)	外観部品に汚れがある場合は清拭作業を行うこと。
			電源コード、およびフットスイッチコードに損傷がないこと。

修理を依頼する前に　●「故障かな？」と考える前に次の点をお調べください。

症状		ここをお調べください	処置
ベッドが動かない	電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか？	確実に差し込んでください。
		電源コードが断線していませんか？	取扱店、または当社にご連絡ください。
	電源が入っている	フットスイッチが断線していませんか？	フットスイッチの交換が必要です。
		連続して昇降操作をしていませんか？	約 10 分後に操作を再開してください。
がたつき・傾きがある		アジャスターの調節がされていますか？	アジャスターを回転させて微調整してください。

株式会社 高田ベッド製作所

〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜 2 番地 27
TEL. 072-484-8800 (代)
URL http://www.takada-bed.co.jp/
お客様相談室：フリーダイヤル **0120-62-2382**